地球温暖化対策実施状況書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 (届出者)の名称	愛知県警察本部		
地球温暖化対策事業者 (届出者)の住所	名古屋市中区三の丸二丁目1番1号		
工場等の名称	愛知県警察本部		
工場等の所在地	名古屋市中区三の丸二丁目1番1号		
業種	公務その他		
業務部門における 建築物の主たる用途	事務所		
建築物の所有形態	自社ビル等(自ら所有し自ら使用している建築物)		
事業の概要	警察		
計画期間	令和3年4月1日	～	令和6年3月31日

2 地球温暖化対策実施状況書の公表方法等

公表期間	令和5年7月31日			～	令和5年10月29日
公表方法	○	揭示 閲覧	(場所) 愛知県警察本部 総務部 施設課 施設管理室		
		ホーム ページ	(HPアドレス)		
		冊子	(冊子名・ 入手方法)		
		その他	(その他詳細)		
公表に係る問合せ先	052-951-1611 内線2292				

3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

私たちは、環境保全の重要性を認識し、事業活動や日常生活が環境に影響を及ぼすものであることを鑑みて、すべての事業活動や日常生活において積極的に環境保全を推進します。

- ・愛知県庁の環境保全のための行動計画の遵守
- ・事業者・消費者としての立場から、事務・事業全般の環境負荷の継続的低減活動の実施
- ・省エネ・節電対策の実施
- ・廃棄物の抑制及び資源化の推進
- ・省エネ機器の導入（設備関係工事施工時）

(2) 地球温暖化対策の推進体制

【エネルギー管理体制】

エネルギー管理統括者：施設課長

エネルギー管理企画推進者：施設課員（施設管理室）

エネルギー管理員：施設課員（施設管理室）

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 2 年度目（令和 4 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		5,699	t-CO ₂
（温室①を酸効除炭ガス換算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		5,699

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

(1) 温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 2 年度		令和 5 年度		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度			
温室効果ガス総排出量	5,983	t-CO ₂	5,923	t-CO ₂	5,771	t-CO ₂	5,699	t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対基準年度）			1.0	%	3.5	%	4.7	%		%
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対基準年度）						%		%		%

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 2 年度		令和 5 年度		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度			
原単位あたりの排出量										
削減率（対基準年度）				%		%		%		%
原単位あたりのみなし排出量										
削減率（対基準年度）						%		%		%

(2) 進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

令和4年度は、昨年（令和3年度）よりもコロナ対策が更に緩和され、冷暖房時間や稼働場所等の抑制を行った結果が功を奏した。

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
省エネ・節電対策の実施（空調機）	<ul style="list-style-type: none"> ・空調の適温化(冷房28℃、暖房19℃)の徹底 ・庁舎改修(耐震)工事の際、冷凍機等可能な限り省エネタイプの設備に取替 	<ul style="list-style-type: none"> ・空調の適温化は、機械室、留置施設を除き、中央監視により実施する。 ・令和4年度に北館の空調設備 	<ul style="list-style-type: none"> ・空調の適温化は、機械室、留置施設を除き、中央監視により実施する。 ・令和5年度に北館の空調設備改修工事実施設計、令和6年度から5箇年工事の予算承認へ変更
省エネ・節電対策の実施（照明）	<ul style="list-style-type: none"> ・廊下、トイレ等の消灯(安全確保が前提) ・庁舎改修(耐震)工事の際に、蛍光灯を高効率型に変更 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度に一部24時間勤務事務室の照明設備をLEDに改修工事 ・令和4年度に北館の照明設備 	<ul style="list-style-type: none"> ・廊下、トイレの消灯 ・昼休みの事務室内の消灯 ・令和5年度に北館の照明設備改修工事実施設計、令和6年度から5箇年工事(LED化)の予算承認へ変更
省エネ・節電対策の実施（OA機器等）	<ul style="list-style-type: none"> ・OA機器、電化製品等の使用していない時間帯及び退庁時の電源オフの徹底 		<ul style="list-style-type: none"> ・施設だよりを発信し、各部各課に協力依頼し、節電に努めるとともに、節電の意識付けをおこなった。

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 2 年度目 (令和 4 年度) における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要 (規模、性能、発生エネルギー量等)

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
電力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値 (クレジット等) の活用の状況

計画期間 2 年度目 (令和 4 年度) におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量 (みなしの削減量) の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

--

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

--